

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
1	4/2	病理学概論	1. 病理学の歴史を説明できる。 2. 病理学の意義を説明できる。 3. 病理学の臨床医学との関連においてその意義を説明できる。 4. 疾病の自然経過について説明できる。	A 主要部分を板書により解説する。P1-P2	槻木恵一	C-1 必14-A-a 総-(IV)-1・10
2	4/13	循環障害	1. 各種血行障害の定義および発症機序について説明できる。 2. 各種血行障害を分類し、説明できる。	A 主要部分を板書により解説する。P46-P59	佐藤一芳	D-4-3) 必14-A-h 総-(IV)-4
3	4/20		1. 側副循環について例をあげて説明できる。 2. 血栓症の成り立ちを理解し説明できる。			
4	4/27		1. 塞栓症の形成機序と転帰を説明できる。 2. 塞栓症を栓子の種類により分類できる。			
5	5/11		1. 梗塞を理解し、例をあげ説明できる。 2. 浮腫の成因を説明できる。			
6	5/18		1. 変性の定義について説明できる。 2. 変性を分類できる。 3. 萎縮の定義について説明できる。 4. 萎縮を分類できる。	A 主要部分を板書により解説する。P28-P39		
7	5/25	1. 壊死の定義について説明できる。 2. 壊死を分類できる。 3. 壊死の転帰について説明できる。 4. アポトーシスについて説明できる。				
8	6/1	進行性病変	1. 肥大と過形成の定義について説明できる。 2. 仮性肥大について説明できる。 3. 肥大を分類できる。 4. 肉芽組織の定義について説明できる。 5. 肉芽組織の形成機序について説明できる。 6. 創傷治癒について説明できる。	A 主要部分を板書により解説する。P40-P45	佐藤一芳	D-4-2) 必14-A- 1 総-(IV)-3
9	6/8		1. 器質化について説明できる。 2. 各種組織の再生力の違いについて説明できる。 3. 化生について説明できる。			
10	6/15		1. 炎症の経過を説明できる。 2. 炎症細胞の役割を説明できる。	A 主要部分を板書により解説する。P60-P74		
11	6/22	1. 炎症を分類できる。 2. 各種炎症の病理学的定義を説明できる。				
12	6/29	1. 急性炎症の5徴候をあげ、説明できる。 2. 急性炎症と慢性炎症の病理学的違いを説明できる。 3. 肉芽腫性炎の種類と病理学的特徴を述べることができる。				
13	7/6	免疫異常	1. 免疫機構の基本的知識を持ち、過敏症について説明できる。 2. 過敏症を分類し、その代表的な病変の特徴を説明できる。	A 主要部分を板書により解説する。P75-P88	佐藤一芳	D-3-2)- ⑤⑥ 総-(IV)-6
14	7/13		1. 自己免疫疾患をあげ、その特徴および発症機序を述べることができる。 2. 炎症と免疫の違いを説明できる。			
15	7/20	天 感 染 症 ・ 先 異 常	1. 感染症による宿主の一般的反応を説明できる。 2. 感染症発症における個体差を説明。 3. 先天異常の原因と分類ができる。 4. 遺伝性疾患について具体的な例をあげることができる。 5. 染色体異常について説明できる。	A 主要部分を板書により解説する。P89-100, P180P27	槻木恵一・三好代志子	D-3-1)、D-2-2)、F-2-3)- ①~③ 必14-A-b・e、 総-(IV)-1・6